

(3) 生活環境

① 3Rの推進・ごみの適正処理

～循環型社会の形成をめざし、ゼロ・ウェイスト社会の実現に向けて、ごみの減量・資源化を推進します～

推計事業費（3ヵ年合計）：8,279 百万円

◆目標とすべきまちの姿

大量消費・大量廃棄社会からの脱却についての市民等の理解が浸透し、家庭系ごみ及び事業系ごみの発生量は減少しています。

ごみ焼却施設は計画的な更改、改修が進み、ごみの焼却効率が上がり、省エネルギーかつ環境に配慮した資源の処理が可能となっています。

ごみの発生抑制、再使用、循環資源の再生利用が市民生活に根付き、市民、事業者、市が協働して、安定的で着実なごみ処理が行われています。

◆主な取組

1. 大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直し

「ごみを持ち込まない」、「ごみを作らない」、「ごみを出さない」社会づくりのため、ライフスタイルの見直しや生産販売事業者への呼びかけを行います。市民、事業者、滞在者、行政による協働、連携体制をより推進し、ごみの総排出量の削減に努めます。

2. ごみの発生を抑えた環境配慮型社会の形成

本市は、これまでもごみの減量・資源化に取り組んできましたが、今後さらにごみの発生抑制、再使用、再生利用を進める施策を推進します。

3. 安定的なごみ処理体制の確立

ごみ処理にかかる技術的進歩の動向、社会経済情勢の動向を注視し、本市に最も適したごみ処理体制の構築に努め、ごみの減量・資源化に取り組みます。

また、財政的負担も踏まえ、効率的かつ安定的なごみ処理を行うため、民間活力の活用も視野に入れたごみの処理体制の確立に努めます。民間活力の導入にあたっては、処理コスト削減の視点だけでなく、市民サービスの向上や将来にわたる安全面も考慮して進めます。

◆この施策の方針内で実施する事業（実施事業）

事業名	所管課	事業内容
環境運営事業	環境政策課	一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造及び循環型社会の形成を図るため、一般廃棄物処理施設のための基金運用、清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費並びに関係団体への負担金の支出を行います。

事業名	所管課	事業内容
事業CD:3-3-1-5 廃棄物処理施設の マネジメント事業	環境施設課	一般廃棄物処理基本計画を基に、名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、深沢クリーンセンター及び最終処分場などの廃棄物処理施設の再編整備を進めるため、長寿命化計画に基づく個別施設計画を策定するとともに、施設の適正な管理・運営に努め、安定的なごみ処理を実行します。
名越クリーンセンター管理運営事業	環境センター	焼却施設、粗大ごみ処理施設に係る運転及び維持管理等により、一般廃棄物（し尿を除く。）の適正処理を行います。
今泉クリーンセンター管理運営事業	環境センター	中間処理施設、粗大ごみ処理施設等に係る運転及び維持管理、今後の施設の利活用に伴う工事等により、一般廃棄物（し尿を除く。）の適正処理を行います。
名越クリーンセンター収集事業	環境センター	鎌倉、腰越及び深沢地域の一部のごみの収集運搬作業及び清掃車両の整備等を行うとともに、減量・分別・資源化を推進するための市民や事業者への指導及び啓発を行います。
今泉クリーンセンター収集事業	環境センター	大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集運搬作業及び清掃車両の整備等を行うとともに、減量・分別・資源化を推進するための市民や事業者への指導及び啓発を行います。
事業 CD:3-3-1-7 ごみ収集事業	ごみ減量対策課	資源物及びごみの収集運搬の民間委託について、委託の手法及び効率性を含めて検討し、経費を抑えた業務委託を実現します。高齢者等の負担軽減に配慮した収集方法を検討します。
最終処分事業	環境施設課	焼却灰の全量を熔融固化処理及び焼成処理し、焼却灰の安定処理を行います。最終処分場の生活環境の保全及び公衆衛生の安定を図るとともに、最終処分場の廃止に向けた事業を進めます。
事業CD:3-3-1-6 新焼却施設整備事業	環境施設課	新ごみ焼却施設建設に向けて、周辺住民との話し合いや基本設計、都市計画決定及び生活環境影響調査等を進め、発注仕様書作成及び事業者選定の検討を行います。
ごみ処理広域化計画推進事業	環境施設課	鎌倉市・逗子市・葉山町で、ごみ処理の広域連携及び「ごみ処理広域化実施計画」の策定について協議を進めていきます。
笛田リサイクルセンター管理運営事業	環境センター	廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行います。
事業CD:3-3-1-8 ごみ資源化事業	ごみ減量対策課	資源物及びごみを品目別に分別し、資源化を図ります。現在、可燃ごみとなっている品目について、資源化品目の拡大を検討します。事業者や許可業者への指導及び啓発により、事業系ごみの適正排出及び分別の徹底を図ります。

事業名	所管課	事業内容
3 R 推進事業	ごみ減量対策課	3 R 事業を推進し、ごみの発生抑制及び減量・資源化を図り、循環型社会を形成します。

◆重点事業

事業CD	3-3-1-5	事業名	廃棄物処理施設のマネジメント事業		
所管課	環境施設課				
事業目標	廃棄物処理施設のインフラ長寿命化計画（行動計画）として策定した社会基盤施設マネジメント計画（生活環境施設編）に基づき、個別施設計画を策定し、あわせて適正な管理を進めます。				
事業内容	一般廃棄物処理基本計画を基に、名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、深沢クリーンセンター及び最終処分場などの廃棄物処理施設の再編整備を進めるため、長寿命化計画に基づく個別施設計画を策定するとともに、施設の適正な管理・運営に努め、安定的なごみ処理を実行します。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	今泉クリーンセンター 煙突解体工事 最終処分場復元工事 笛田リサイクルセンタ ー長寿命化計画策定 名越クリーンセンター 長寿命化計画に基づく 適正管理	今泉クリーンセンター 煙突解体工事、耐震工 事、屋内床埋戻し修繕 名越クリーンセンター 長寿命化計画に基づく 適正管理	名越クリーンセンター 長寿命化計画に基づく 整備 笛田リサイクルセンタ ー長寿命化計画に基づく 適正管理	760.8 百万円	

事業CD	3－3－1－6	事業名	新焼却施設整備事業		
所管課	環境施設課				
事業目標	市内の燃やすごみの安定的な処理に向け、新たなごみ焼却施設建設をめざします。				
事業内容	新ごみ焼却施設建設に向けて、周辺住民との話し合いや基本設計、都市計画決定及び生活環境影響調査等を進め、発注仕様書作成及び事業者選定の検討を行います。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	地元調整 関係機関協議	基本設計 生活環境影響調査 都市計画決定に向けた準備	生活環境影響調査 都市計画決定 発注仕様書・事業者決定の検討	104.7 百万円	

事業CD	3-3-1-7	事業名	ごみ収集事業		
所管課	ごみ減量対策課				
事業目標	「ゼロ・ウェイストかまくら」をめざし、一般廃棄物の効率的・安定的な収集体制を構築します。				
事業内容	資源物及びごみの収集運搬の民間委託について、委託の手法及び効率性を含めて検討し、経費を抑えた業務委託を実現します。高齢者等の負担軽減に配慮した収集方法を検討します。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	効率的な収集運搬体制の構築 ふれあい収集の拡大	効率的な収集運搬体制の構築 ふれあい収集の拡大	効率的な収集運搬体制の構築 ふれあい収集の拡大	1,963.5 百万円	

事業CD	3－3－1－8	事業名	ごみ資源化事業		
所管課	ごみ減量対策課				
事業目標	「ゼロ・ウェイストかまくら」をめざし、ごみの発生抑制及び減量・資源化を図り、循環型社会を形成します。				
事業内容	資源物及びごみを品目別に分別し、資源化を図ります。現在、可燃ごみとなっている品目について、資源化品目の拡大を検討します。事業者や許可業者への指導及び啓発により、事業系ごみの適正排出及び分別の徹底を図ります。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	減量・資源化方策の拡大	減量・資源化方策の拡大	減量・資源化方策の拡大	2,184.0 百万円	